

教科書				
使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
適宜、資料を配布する。				
授業計画				
1. 全体ガイダンス 2. 健康体力学基礎演習 3. 生涯スポーツ基礎演習 4. 健康づくり学基礎演習 5. スポーツ・運動処方学基礎演習 6. スポーツ心理学基礎演習 7. スポーツマネジメント基礎演習 8. スポーツ科学基礎演習 9. 健康体力学基礎演習 10. 生涯スポーツ基礎演習 11. 健康づくり学基礎演習 12. スポーツ・運動処方学基礎演習 13. スポーツ心理学基礎演習 14. スポーツマネジメント基礎演習 15. スポーツ科学基礎演習				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
☐	ア：PBL（課題解決型学習）	☐	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
☐	ウ：ディスカッション、ディベート	☐	エ：グループワーク	
☐	オ：プレゼンテーション	☐	カ：実習、フィールドワーク	
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
予習：（2時間程度） 各演習テーマの担当教員の研究演習のシラバスを確認し、その内容を事前に把握しておく。 復習：（2時間程度） 各演習テーマの学習内容や教員からのアドバイスを参考に、要点をまとめておく。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
本演習を通して、子どもから高齢者までの広範囲にわたる健康分野に関する基礎知識を身につけ、健康・スポーツ関連産業の理解を深めることができることから、本学科のディプロマポリシーの達成に大きく貢献できる科目である。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
クラスによっては、responやformsなどを使用し、学生間とのコミュニケーションツールとして活用する。				
実務経験の有無及び活用				
なし				
備考				
なし				